

平成 31 年度国保事業費納付金（医療分）算定に係る保険給付費の見込みについて

1 平成 30 年度の保険給付費の見込み

- 納付金を算定する際には、県全体の保険給付費を見込む必要があるが、納付金等算定システムにおいて、見込額を算出することが可能である。
- ただし、同システムで算出する保険給付費見込額については、過去の被保険者数、一人当たり診療費の推移を基に機械的に推計したものであり、実際の保険給付費額を下回ることも想定される。
- 特に平成 28 年度は 1 人当たり医療費の伸びが低い年度であることに留意し、各市町村が見込む保険給付費の額（県合計）と納付金等算定システムでの見込額を比較して、高い方の額を、納付金を算定する際の保険給付費見込額とすることとし、30 年度は各市町村が見込む保険給付費の額を採用した。

2 平成 31 年度の保険給付費の見込み

- 平成 28 年度、29 年度の保険給付費の減少トレンドが、一時的なものであるか判断できないことから、昨年度と同様に、各市町村が見込む保険給付費の額（県合計）と納付金等算定システムでの見込額を比較して、高い方の額を保険給付費見込額とする。
- ただし、今後、実績を踏まえ、見込額と大きく乖離が生じる場合は、改めて算定方法を見直すこととする。
- なお、各市町村においては、住基情報等を活用し、管内の被保険者数や医療費の状況を踏まえ、真に見込まれる額を県に提出することとする。
- 各市町村から提出された保険給付費の見込額については、過大な見積りになっていないか、県としても確認する。なお、確認にあたっては、市町村の算定基礎資料を提出していただく場合もある。

（参考）

【過去 5 年間の保険給付費】

（単位：円）

年度	a 保険給付費※	前年度比
25	597,355,853,109	101.6%
26	602,469,051,667	100.9%
27	616,477,986,989	102.3%
28	596,046,144,155	96.7%
29	576,998,938,418	96.8%
過去 5 か年平均		99.7%

※ 国保事業年報

【直近1年間の月別保険給付費（診療月ベース）】

（単位：円）

月別	保険給付費※	対前年度同月比
29年3月	49,109,825,753	92.4%
4月	46,895,048,137	94.3%
5月	47,503,937,288	100.0%
6月	48,287,879,075	97.8%
7月	47,658,910,885	97.5%
8月	47,227,022,140	98.4%
9月	46,685,924,448	98.0%
10月	47,928,302,178	98.3%
11月	47,425,614,707	98.7%
12月	48,231,144,675	99.8%
30年1月	46,353,176,384	99.1%
2月	45,631,073,170	98.5%
3月	49,138,786,938	100.1%
4月	46,431,609,999	99.0%
平均	47,544,357,368	98.0%

※ 国保事業月報 療養給付費、療養費、高額療養費、高額介護合算療養費、移送費の合計額

【参考 被保険者数及び一人あたり保険給付費】

（単位：人、円）

年度	b 被保険者数	前年度増減	前年度比	一人あたり (a/b)	前年度比
25	2,383,987	-	-	250,570	-
26	2,319,379	△ 64,608	97.3%	259,754	103.67%
27	2,238,291	△ 81,088	96.5%	275,424	106.03%
28	2,127,795	△ 110,496	95.1%	280,124	101.71%
29	1,996,625	△ 131,169	93.8%	288,987	103.16%
平均	2,213,215	△96,840	95.7%	270,136	103.64%

(b：年間平均被保険者数)